

パン、菓子製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	12～ 13	当社工場内の洗い場において、桜の葉を洗う為、桜の葉の束が入ったビニール袋を左手で持ったまま包丁で開けようとしたところ、袋を持っていた左手の内側の薬指に包丁の刃を誤って接触させてしまい負傷した。	74	364	8	30～ 49
2017	1	23～ 24	問屋町にある物流センターへ製品を納品するため、トラックから降りてセンターの倉庫へ歩いていたら、凍結した路面に滑り、転倒した際に左足を負傷した。	61	719	2	300 ～ 499
2017	1	7～8	工場へ出勤しようとして入口に向かっているときに滑って転び、左手首を痛めた。	61	719	2	50～ 99
2017	1	11～ 12	プルーンビッツ製造室でプルーンスラッジの入った袋の計量をしたものをパレットへ積む作業をしていた。作業場は、計量秤とパレット用台車のスペースが狭く、足元が不安定だった為、作業中につまずき、前のめりで転倒してしまい、左手の親指付け根部分に酷い痛みが生じた。	49	416	2	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	第6工場6階バルクラインで、ラインの整備作業中、ライン上に流れている製品容器の蓋を取ろうと手で製品を追いかけたところ、フレームと蓋に手を挟まれて左腕を骨折した。	34	169	7	500 ～ 999
2017	1	5～6	休憩に行く際、1Fエレベーター前でエレベーターが1Fで待機状態だったので、急いで「開」ボタンを押そうと走ってしまい、走った勢いでスリッパがもつれ、転倒した。	25	379	2	500 ～ 999

2017	1	20~ 21	3号ライン2階バケット付近から原料を取りに行く際に、4号ラインロングコンベア架台付近の柱につまずき転倒し、架台下部のアングルに右足くるぶしをぶつけて負傷した。	42	418	2	~ 499	300
2017	1	10~ 11	階段を踏み外し、踊り場まで階段を10段ほど滑り落ち負傷した。	53	413	1	~ 299	100
2017	1	11~ 12	被災者は製品切替のため、前の製品の包材を包装機から取ろうとしていた。その際、使い終わった光陽デポを台車に載せた状態で運搬していた別の作業者が、被災者の後方を運搬したときに、ホッパがデポ本体から外れて落下し、ノズル部分が被災者の足に当たり被災した。	50	391	4	~ 9999	1000
2017	1	23~ 24	加熱調理室にて、二重釜作業の使用目処が立った為、周囲の床をお湯と洗剤を使用し、清掃を行っていた際、本人が散布した洗剤に誤って足を滑らせ、一度は洗剤専用ラックに手をかけ右足を踏みとどまったものの、支えていたラックも倒れてしまい、転倒し被災した。	35	417	2	~ 299	100
2017	1	16~ 17	脚立に乗って高い場所にある延長ケーブルを外そうとした時、近くにあった換気扇の動いているプロペラに不注意で左手をぶつけてしまい指を怪我してしまった。	20	391	3	50~ 99	
2017	1	16~ 17	仮詰め作業中に後ろ向きで歩いてしまい、床に置いてあったハンドリフトに気づかずにつまずいて転倒し、右手をついた際に骨折した。	59	379	2	~ 499	300
2017	1	8~9	B棟焼き工程にて生産終了後にコンベア清掃を行っている時にチェーンカバーの上にあったせんべいカスを発見。手で取り除こうとした際に右手人差し指がチェーンに巻き込まれスプロケットとチェーンの間に挟まれ負傷した。	45	224	7	~ 499	300
			工場内仕上げ室で、5ライン切断機のローラー掃除を終え、長靴置き場に長靴を履きに行く移動中、6ライン切断機前の濡れている床					100

2017	1	16～ 17	(お湯で掃除をしていた為、床が濡れていた) で滑り、尻もちをつくように後ろに倒れ、右手を掌からついて手首を痛め、親指の付け根を骨折し、全治2ヶ月となった。	56	416	2	～ 299
2017	1	0～1	リバースシーターの清掃を行う時、設備を動かしながら行ってしまい、ローラーに右手を巻き込まれ、右前腕左側を挫傷した。	64	163	7	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	構内にて機械オーバーホール（ベーキングプレート取り外し）作業中、一番初めのベーキングプレートを取り外すにあたり、隣りのベーキングプレートが干渉し取り外しが出来ない為、干渉を防ぐのにベーキングプレートを立てた状態で取り外し作業を開始したところ、振動で立てていたベーキングプレートが倒れ間に挟まれ受傷した。	29	165	5	30～ 49
2017	1	16～ 17	エアイン包装別ラインで、生産後の掃除時に集塵機周りの掃除をしようとして足を滑らせ転倒し、臀部を強打した。	48	417	2	100 ～ 299
2017	1	6～7	自社店舗内でパン生地を伸ばしているとき、生地が機械に付いたので取ろうとしていたとき、右手が機械内に入ってしまった。	56	165	7	1～9
2017	1	12～ 13	当社食堂内で、椅子に乗り神棚の榊の水を入れ替えようとしたところ、バランスを崩し転倒し、床に手を着いた時に左手首を負傷した。	76	379	1	30～ 49
2017	1	11～ 12	場内で作業を行おうと歩いていた時、移動式天井クレーンが動いている事に気をとられ上を見上げていた。真横に置いていたタンク下部排出口の出ている所に気付かないままつまずいて転び、転んだ勢いで左手を床につき、左中指を骨折した。	58	391	2	30～ 49
			自動スライサーで手順通りにパンをスライスしていたところ、最後の1枚をスライスする際に、パンに手を添えた為、刃物が指に当たって負傷した。本来は、最後の1枚まで自動スライスした後、重				

2017	1	11~ 12	りがセンサーに当たって停止する機械で安全である。また、安全ガード内には絶対に手指を入れてはいけないものであるが、パンのやわらかさを考え、手を添えた方がまっすぐにきれいにスライスできると思い、安全ガード内に手を添えてしまったために負傷したと思われる。	41	165	8	10~ 29
2017	1	11~ 12	当社工場内を小走りで移動していたところ、バランスを崩して転倒し負傷した。	58	417	2	30~ 49
2017	1	12~ 13	工場内の市販パン包装室にて作業中、作業台の上に置かれている、その日の作業内容が記された製造指示書の内容を確認するため、急いで作業台に近づいたところ、足を滑らせて体勢が崩れ仰向けに横転し、左体側・腰部・臀部・大腿部を床に強打し、大腿骨頸部を骨折した。	54	417	2	100 ~ 299
2017	2	11~12	会社を出て店へ商品を届け、その帰り道の道路でダンプカーと正面衝突し全身強打で外傷性ショックで死亡した。現場は片側一車線の緩やかなカーブでブラックアイスバーン状態であった。	54	231	17	10~ 29
2017	2	12~13	搬送コンベア清掃時ベルト裏の粕取スクレーパーを取り外し洗浄しようとしたところ誤って落下させ靴の上から左足親指に直撃し怪我をした。	64	224	4	100 ~ 299
2017	2	16~17	工場の外に番重を出す作業のため階段を使用して屋外に出る際に階段で足を踏み外して転倒した。転倒時には両手に何も持っておらず、右手と側頭部を打撲した。	51	413	1	100 ~ 299
2017	2	16~17	第3工場給袋包装機3号機で、半製品投入部の清掃を終了し、踏み台を後ろ向きで降りた際、足を踏み外し転倒した。転倒した際、オリコンを置く枠に右腹部をぶつけた。	63	413	1	100 ~ 299
2017	2	15~16	不良品を廃棄袋に移しに行き、持ち場に戻る際、急ぎ足で戻り、また湿った床のことを失念し、左足でビニールを踏んでしまい、転倒した	26	417	2	100 ~ 299

2017	2	20~21	4Fシャワー室にて、クリーム充填機部品の洗浄作業中に、洗い終えた部品棒を立て掛けておいたところ、部品が倒れていってしまった。止めようと手を出したところ、重さに耐えられず、そのまま床まで部品が倒れてしまい、指を痛めた。（部品棒：長さ1.2m、重さ8kg程のステンレス製）	24	521	3	100 ～ 299
2017	2	10~11	工場1階商品課において、商品を取り上げる作業中に床が濡れていたためバランスを崩し裁断機の支柱に右手を強打し打撲した。	52	417	2	50～ 99
2017	2	14~15	グラノーララインの乾燥機出口にて生地の変取り作業中に、生地を受けた袋をパレットの上に運搬中、足元が滑って転倒した。床に生地の粉があり、日頃より注意喚起をしているが、本人の不注意により転倒してしまった。又、転倒防止マットが敷いていない場所を通行していた為である。	62	416	2	100 ～ 299
2017	2	10~11	製パンデニッシュ課室内で、リバースシーターで生地折り込み後の掻き落としの為、ダスター（布）を持ち横にスライドさせながら刃の清掃をしたところ誤って人差し指を切ってしまった。	44	165	8	100 ～ 299
2017	2	18~19	生地工場内で抜型を乾燥機内へ運ぶ作業をしていた。両手で肩を持った状態で足を引っ掛けた。その際に前のめりで倒れ、右手の上に肩が落ちて負傷した。	19	417	2	100 ～ 299
2017	2	17~18	被災者は和菓子課の包装場にて桜餅の不足分30個のラベル貼り作業をしていた際、製品ケースの外側表面に汚れが付着していることに気付いた。そして、その汚れを拭き取ろうとしたが、手元にアルコールスプレーがなかった為、隣のラインのアルコールスプレーを取りに行こうと振り返った時に足元にあった台車に右足をとられて後方に転倒し被災した。※ラインは停止していた為、本人は焦ってはいなかった。また台車は誰かが放置したものであった。	61	417	2	500 ～ 999
2017	2	12~13	デザート包装室にて自動電動カッター（手で持つタイプ）でロールケーキをカットしている時に後のロールケーキを取るためカッターをテーブルに置いていた際、カッターがテーブルから落ちそうに	22	169	8	500 ～

			なったので、とっさに両手で押さえたときにスイッチに触れた為、刃が動き左手指を切った。					999
2017	2	14~15	菓子製造ライン。プリン充填箇所のカップ移送ベルトを清掃する時は、ベルトを停止して行うことになっている。事故発生時はベルトを止めるべき社員がこれを怠り、また被災者もたまたまベルトの汚れを発見したことから、思わず右手の布巾で拭き取ろうとした拍子に左手をベルトの外枠（ガイド）に乗せてしまい、カップホルダーとベルトの外枠（ガイド）の間に指を挟まれてしまった。	54	224	7		500 ~ 999
2017	2	15~16	当社工場内にて、被災者がパンの生地を練る横型ミキサーを清掃作業中に本来は機械を止めて清掃しなければならないと指導されているが、復帰ボタンを押し、機械の開閉部分が閉まってくる間に機械の奥を右手で拭き上げをしていた際に、閉じてくる機械に間に合わず、頭が挟まり左耳の前部分を負傷、また閉じてくる機械を左手で強く押さえたため、左手中指第1関節付近を切傷したものである。	69	165	7	1~9	
2017	2	13~14	工場3階焼成ラインの充填機械付近で清掃作業中に、床に水と洗剤が撒かれ滑りやすい状態だったため、足を滑らせて転倒し、左手首を骨折と、腰を強打した。	64	416	2		100 ~ 299
2017	2	11~12	あられ切り作業所において、あられ切り機を可動している時に手を入れてはいけない所に手を入れ指を切断してしまった。	41	165	8	1~9	
2017	2	15~16	包装室で生産時、原料排出の際、原料袋搬送用チェーンとスプロケットの間に右手親指の先を挟む事故が発生した。	24	229	7		30~ 49
2017	2	6~7	食パンラインで作業中、パンの生地の状態が荒れていたため、ストレッチャー（機械）のカバーをあげ、バーに絡まっている生地を取り除こうとした際に、カバーを上へ上げようとした際に上にある操作盤（左右に回転する）に当たりその弾みでカバーを持っていた右手が外れ、カバーが落下した。咄嗟に左手を引いたが間に合わず、カバーの側面の一部に挟まれ、左手小指の爪の付根より切断した。	24	165	7		500 ~ 999

2017	2	10~11	工場内にてパンの生地を平らに伸ばすための機械（モルダー）を操作中、生地が詰まったため手で押し込もうとした際、機械が動き出し、右手が巻き込まれた。	24	165	7	100 ~ 299
2017	2	16~17	本社工場内で蒸し器を使用して道明寺粉を蒸していた際、蒸し器の蓋を開けた際に、出来立ての道明寺粉が左手手首内側から体に向かって飛んで来て、直径4cmの火傷をした。	46	529	11	10~ 29
2017	2	15~16	工場でおびとりマシーンを動かしている時、カッターで手を挟んだ。右手薬指骨折。	23	165	7	—
2017	2	15~16	20kgの洗剤を保管庫上段より持ち出そうとしたところ、重さに耐え切れず、落としかけ、棚と洗剤の間に人差し指を挟み、末節骨不全骨折を起こした。	51	391	7	50~ 99
2017	2	4~5	ウエスを手に巻き付けて、清掃モード用スロー回転で、アタッチチェーンを清掃中、ウエスがチェーンに引っ掛かりチェーンとスプロケットの間に指を巻き込まれた。	42	165	7	50~ 99
2017	2	8~9	2次加工でV字スライサーを使用中、投入口付近でパンが詰まり、右手でパンを奥に押し込んだ際に、右手中指がスライサーカッターの刃に接触し負傷した。	66	169	8	50~ 99
2017	2	8~9	本社1F工場内にてフライケーキ上げ作業が完了しフライヤーの片付清掃中、足元が滑ったので左足で強く踏ん張った。その際左足を負傷した。痛みが強かった為、作業を中止し、整形外科へ受診したところ、左足くるぶし下付近にひびが入っていたので治療を開始した。	50	416	19	50~ 99
2017	2	8~9	工場内で、ミキサー（パンの生地を練る機械）からパン生地を取り出して、生地をねかすボックスに入れた時、ボックスが転倒して左足が挟まれた。	65	611	5	50~ 99
2017	2	15~16	当社製造加工場にて清掃のため生産ラインのカバー（サイズ45cm×75cm、重量約1kg）を取り外していた時誤って手を滑らせてしま	55	224	4	50~

			い、その拍子にカバーが足の上に落下した。右第一趾を負傷したものである。				99
2017	2	8~9	入社後制服に着替え、エアシャワー室に入りドアを閉めようとしたところ急いでいたため、勢い余って自分の右手中指で挟んでしまい、打撲し負傷したものである。	31	418	7	100 ~ 299
2017	3	19~20	業務が終わり帰宅するため、建物内の階段を下りる途中で私物の携帯電話に着信が入り、その着信に気を取られているうちに足を踏み外してしまい、階段から転落し負傷した。	61	413	1	50~ 99
2017	3	13~14	出勤後、作業現場へ向かう途中で3Fのトイレに入ったところ、清掃中で床が濡れていたため、滑って背中から転倒した。	62	417	2	100 ~ 299
2017	3	0~1	工場内でバット（容器）を冷凍庫に運んでいるとき、足を滑らせて転倒し被災した。	55	417	2	500 ~ 999
2017	3	7~8	2階資材庫から1階工場へ、約3kgのビニール袋を右手に持ち階段を下りようとしたときに、滑って転倒して尻・腰・首を打撲した。	43	413	1	500 ~ 999
2017	3	14~15	本社第2工場内でチョコレートの包装作業中、チョコレートをフィルムに包む機械で誤って左手で製品を取り出そうとして、フィルムのカッターに左手人差し指を差しこんだため、第一関節の上から指を切断した。	53	169	8	30~ 49
2017	3	7~8	C生産仕込室にて、アイテム切替時にベルトを停止し清掃作業を実施した。清掃終了後の稼働時に生地残渣を発見し除去しようと手を入れてしまい、ガイドに手を巻き込まれた。	30	165	7	100 ~ 299
2017	3	5~6	構内の清掃中、バケツを取りに行き台車に乗せて戻る途中、パネルを操作していた別の社員が不意に振り返りぶつかりそうになったため、慌てて立ち止まった際に後ろに転倒し、手をついて手首を痛め	51	921	2	100 ~ 299



			た。				
2017	3	19~20	箱洗い場にて、洗浄前レーンに載っていた進みの悪い箱を後ろ側から押すために移動しようとしたが、レーン右横が箱で埋まっており、担当者の動線が確保されていなかったため、レーン間の通路から箱を押そうと移動し、足を踏み外して転倒し、左足甲の骨にひびが入った。	56	417	1	100 ~ 299
2017	3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	391	4	30~ 49
2017	3	15~16	通路に機材が置いてあり、台車を押しながら通過中、機械に気が付かず左手甲を機械にぶつけてしまった。	48	362	3	500 ~ 999
2017	3	8~9	生地供給作業中、空のラックをパレットに戻す際、床に置いてあった粘着ローラーに気づかず踏んでしまい滑って転んだ。咄嗟に左手を床につき、受け身をとった際に左手首を負傷した。	55	416	2	100 ~ 299
2017	3	18~19	野菜処理室で、野菜を倉庫から野菜洗浄室に運んでいた際、清掃のため排水溝の蓋が取り除かれていたのに気付かず、右足が排水溝に落ち、体のバランスを崩し右膝を捻挫した。	51	417	19	300 ~ 499
2017	3	18~19	工場内にて、正常終了時に床の掃除をエアガンで行っていた時、掃き集めた粉塵の上で足がすべり、転倒した際に受け身の体勢で左手を床につき、手首を骨折した。	64	417	2	30~ 49
2017	3	16~17	ハンド異常でロボットが停止した際、パレタイズ室に入り生地確認の為、番重を覗き込んだ際、アームと生地番重の間に首を挟まれて負傷した。	20	167	7	100 ~ 299
2017	3	18~19	工場1F製造場において、パックシーラー3連機を製造終了後、機械のフィルムローラー下部を洗浄しようとした時、レーンが稼働しており危険であると認識して機械を停止したが、左手をレーンに置いた状態で停止ボタンを操作したため、その間に左手がフィルムロー	24	163	7	100 ~ 299

			ラーまで流れ挟み込んでしまった。				
2017	3	15~16	食品工場の3階資材庫にて、重さ約18kgほどの樹脂製パレット（110×110×14cm）の搬出のため、滑り止めの軍手を使用し両手で最上段（5段）のパレットを引き出そうとした時に、パレットの奥側が床に着いた衝撃でパレットを支えていた両手からパレットが滑り落ち、右足に落下して右足親指を骨折した。	43	529	4	50~ 99
2017	3	2~3	機械上部に生地投入機、投入口で生地が詰まり、その生地を取るため、可動式三段ステップの階段を生地の詰まった部分横に設置し、最上部まで上りしゃがんだ姿勢で生地を取り除く作業をしていたところ、生地を引っ張った勢いで足が階段から滑り、右側の脇腹を強打し床へ落下した。	61	413	1	—
2017	3	18~19	スライサーを移動中、ねじ込み式キャスターのボルトが緩んだキャスターが外れ、大ミキサーが転倒し、本人も同時に転倒し、スライサーで足首を挟んだ。	47	169	5	100 ~ 299
2017	3	13~14	食パンラインブレッドクーラー内にて、ローラートレーはみ出し異常が頻発したため、センサーを確認するためにフレームに足を掛けよじ登る。その際にプッシュートレーレール部分に左手を掛けている事に気が付かず、プッシャーの動作時に指がプッシャーローラーとレールの部分に左手中指薬指がはさまれた。	61	169	7	500 ~ 999
2017	3	9~10	工場内包餡機の調子が悪いという報告を受け、確認すると包餡後の商品に傷が見られたため、機械を一旦停止し調整を行った。調整後、パート職員に調整後問題なく動作していることを動作確認しながら調整箇所を指差しで説明していたところ、誤って上下動作をしているリングと調整箇所の間指が挟まれ負傷した。	29	165	7	100 ~ 299
2017	3	10~11	生産が終了し、バケットホルダーの清掃時にカバーを外し清掃を行っていましたが、ローラーを起動させながらスケッパーにて生地、カス等を取り除く清掃作業を行っていたとき、手からスケッパーが滑り落ちてバランスを崩し、ローラーに手指を挟まれ巻き込	20	163	7	500 ~ 999

			まれた。				
2017	3	16~17	2Fライン蒸し物搬送ベルトの掃除中に、電源を切らないままモーターの裏部分を掃除中に右腕をベルトに挟まれた。	19	224	7	100 ~ 299
2017	3	15~16	2Fのパイ室で、リバースシート作業終了後の清掃準備中、誤ってローラーを動かすスイッチ（フットペダル）を自分で踏んでしまい、ローラーが動き出して右手が圧延部分（厚み約2mm）に挟まれた。	47	163	7	100 ~ 299
2017	3	16~17	工場製造後、ロースター金属探知機のシートをラインを動かしたまま拭き掃除をしていたとき、機械の端でシートを挟むように押さえながら行っていたため、ウエスが先に機械に巻き込まれ、右手人差し指が機械に巻き込まれた。	53	169	7	50~ 99
2017	3	10~11	工場内を歩いていたところ、流し台付近に落ちていた跳水に足を滑らせバランスを崩し、転倒を防ごうと右手を床につき、右手首を負傷した。	46	417	2	50~ 99
2017	4	17~18	工場内、洗浄済み番重室に置いてある番重の蓋を取りに行く際、誤って足を滑らせ転倒し、左手を床につき、左手首を骨折した。	53	417	2	50~ 99
2017	4	15~16	工房内で、アームミキサー（生地を作る機械）を使用して饅頭生地を作っている際に、小麦粉を投入した後に小麦粉が容器からこぼれ落ちるのを防ごうとして、左手をアームミキサーの中央に入れてしまったため、交差する左右のアームに左手のひらを挟まれ負傷した。	27	165	7	100 ~ 299
2017	4	13~14	工場入口通路にて、使用済みのダンボールを壊す作業をしている時、手では壊せなかったため足で潰そうとした時、足を滑らせ後ろに倒れそうになり、両手をついて右手首を負傷した。	59	379	2	30~ 49
			蒸しパンラインで作業中、次の製品で使用する金型を準備するため、作業していた場所から離れたところにある金型を取りに行っ				1000

2017	4	20～ 21	た。金型は専用台車ではない台車に不安定な状況で積まれていたが、そのまま運搬しようとしたところ台車が勢いよく動き出してしまい、体勢が前方に崩れ、立て直そうとして左足を滑らせ転倒した。	64	362	2	～ 9999
2017	4	17～ 18	仕分け室ドライバー出入口で段差を踏み外し、右足をついた時に前のめりになり、右膝で右胸下を強打し、右肋軟骨を損傷した。	49	418	2	300 ～ 499
2017	4	10～ 11	自動包装機の下シーラー付近の汚れを拭き取ろうとして、稼働中の自動包装機に手を入れ裂傷した。	55	165	8	100 ～ 299
2017	4	15～ 16	1階仕込室で蒸練機の洗浄中、羽を手動で逆時計回りに動かした。その際に洗剤で手が滑り、右手小指を練出口と羽の間に挟み、右手小指を裂傷および骨折した。	61	165	7	100 ～ 299
2017	4	20～ 21	包材倉庫での棚卸作業中、ラックに二段積みされた上段の包材数量を確認する作業の際、本来ならば脚立等に乗って作業すべき所、下段にある包材を踏み台代わりにして作業を行い、足を滑らせて高さ約180cm上から落下し、右肩右腰を強打した。	43	611	1	30～ 49
2017	4	11～ 12	作業終了後、下取り作業場のスイングドアの前でシフト表を記入しており、ボールペンを下取り担当者へ返そうとした際、現場にいた作業者がスイングドアを勢いよく開けた為、スイングドアにぶつかり転倒し、臀部を床に強打した。	54	419	6	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	工場の事務所玄関において、荷物を両手で持った状態で、後ろ向きになり、玄関の扉を腰で押し開けようとした所、腰を捻ってしまった。	69	921	19	300 ～ 499
2017	4	16～ 17	ホテル施設内19Fの洗い場において、シンク内のゴミ受けのゴミを処理中に、ゴミ受けの金具に接触して左親指付近を裂傷した。	58	417	2	100 ～ 299

2017	4	12～ 13	事業所内にある、あんころ餅を製造する工場内で、包あん機を作動させた時に、出始めのあんが乾いているのを発見し、機械を停止させるボタンを押して機械を停止させたつもりが作動ボタンを押し、機械の停止を確認せずに右手を入れてしまい、機械に挟んだ。	50	165	7	10～ 29
2017	4	23～ 24	長ネギのダイス工程（切りきざむ）終了時に、スライサーの電源を切らずに、上コンベア持ち上げ用のレバーを右手で引き上げ、左手で下コンベアのダイスされたネギをかき集めていて、奥まで手が入ってしまい稼働中のカッターの刃に左手中指が接触して負傷した。	40	169	8	300 ～ 499
2017	4	14～ 15	工場内にて機械部品の取り外しをする際、脚立を踏み外して転んでしまった。	51	371	2	30～ 49
2017	4	11～ 12	第二工場のゼリー液充填室でゼリー充填の為のホッパータンク内（深さ約90cm）を清掃及び菌採取をしている時、前のめりの無理な体勢になり、ホッパータンクの縁で右肋骨部分を圧迫しながら作業を行っていた。日々20分～30分を2回以上、約1か月間続けた頃から圧迫部分が次第に痛みだし、圧迫部分が挫傷していた。	32	921	19	50～ 99
2017	4	15～ 16	缶流しの作業中、コンベア上で缶が詰まった為、それを取り除こうとして慌てて走り出した際に足を捻った。	44	921	19	50～ 99
2017	4	11～ 12	工務用作業場のタンク（苛性ソーダを水で薄め温めたもの）を使って、パン製造用のラックを洗浄しようとした時、タンク内の溶液濃度を高める為、新たに苛性ソーダ（粒状）を補充しようとした時に袋から塊が一気にタンク内に流れ落ちた。溶解熱が発生し瞬間的にタンク内の溶液が噴き上がり、身体に付着し負傷した。	56	519	11	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	菓子製造作業中、工場内の溝（排水の溝）に足が入り、挟まりバランスをくずして転倒し骨折した。	70	416	2	10～ 29
2017	4	9～ 10	工場内の通路で餡の入った板重をカゴ車からキャスターに積みかえた時、一番下の板重がキャスターにはまっておらず、それを直そうとしてキャスターと板重の間に左手の指を挟んだ。	18	611	7	50～ 99

2017	4	15～ 16	<p>主担当は出荷場であるが、当日は他部署メレンゲ作業応援をしていた。作業終了後に本来の部署に帰る際、水分補給の為本来通らない経路（メレンゲ室→オープン前→充填室→仕込み室→サニタリー）を通ったが、仕込み室が清掃後の為床が濡れており、誤って滑り転倒してしまった。その際に右肩を床に打ちつけ、腱が引っぱられて内出血をおこした。</p>	37	418	2	50～ 99
2017	4	23～ 24	<p>ベルトの設定をしている時に、ストッパーで止めて設定していたがよそ見をしてしまい、コンベアが下りてきて指を挟んでしまった。</p>	53	121	7	500 ～ 999
2017	4	8～9	<p>2段台車に資材（18ケース180kg）をのせ、スロープを引っ張り搬送していたところ、荷崩れを起こし転倒した。その際、傾いた台車に挟まれ右足の踝を骨折し、腰を床面で強打した。</p>	67	362	7	500 ～ 999
2017	4	11～ 12	<p>工場内においてクッキー生地の仕込み作業を行っていたとき、生地の状態を確認するため、踏み台（縦56cm×横41cm×高さ41cm）に上りミキサーのふたを開けようとした際、踏み台の天板が濡れていたため右足が滑って身体全体のバランスが崩れ、踏み台の角に勢いよく左足の脛を打ちつけた。</p>	21	371	2	50～ 99
2017	4	23～ 24	<p>スタッカー内にパン箱が詰まり、停止ボタンを押したつもりが別スタッカーの停止ボタンを押した。その後スタッカー横のリフト上で詰まったパン箱を取り除く作業を行っていたところ、リフトが下降し、バランスを崩して左側柵に左わき腹を強打した。</p>	62	214	3	500 ～ 999
2017	4	10～ 11	<p>製造三課菓子パン七係の洗い場で、長靴を履いて生地取り箱を洗浄した後、後方の置き場に両手で箱を持ち置くときに、被災者が予め床面R部分の汚れを浮き出さす目的で洗剤をつけていた床面R部分に右足を踏み込み、前方に滑り転倒した。その際に洗い場のフレームに右膝を強打した。</p>	59	418	2	500 ～ 999
			<p>本社工場内で餅に味付をする機械を動かしながら洗浄作業中、機械</p>				

2017	4	14～ 15	内部の棧の上におかきの断片が落ちていたので、機械を止めないで右手で掴み取ろうとしたとき、普段洗浄作業中は填めていないゴム手袋を填めていたため、ゴム手袋の先が動いているギアに引き込まれそのまま指先がギアに巻き込まれ指先を負傷した。	58	121	7	30～ 49
2017	4	10～ 11	事業所内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	165	7	10～ 29
2017	4	15～ 16	マンツーマンで新人作業者に包装機のセットの仕方を指導中、一人でセットが出来たがエンドシール部の包材が詰まっていることに気づき、被災者は包装機内側から左手を伸ばし詰まりを直していた。その時、新人作業者はトジマークの調整を行い、指導者（被災者）が包材を手で押さえてくれていると思い製品を感知するセンサーに手を当てて動かしてしまった。詰まりを発見した時点で電源を切るか、カバーをはずす（カバーをはずせば電源が切れる）べきだった。	29	169	7	50～ 99
2017	4	14～ 15	仕事中に椅子に足をひっかけて転倒した。	21	391	2	50～ 99
2017	4	8～9	終業後、着替えを終え帰る際、階段で足を踏み外し転倒した。階段は全9段あるが、目撃者がいないため何段目から足を踏み外したかは不明である。	73	413	1	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	417	2	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	コンベアの修理の為、業者（2名）、社員（3名）で、コンベアを工場外へ移動させていたがコンベアが横に蛇行し、壁の電気スイッチBOXに当たりそうになったので、止めようと手をいれたところ、壁とコンベアに右手を挟まれ、小指を負傷（ヒビ）した。	28	612	7	30～ 49

2017	4	10~ 11	第一工場にて飴を成型する作業中、機械に飴がくっついて作業が止まったため、機械からくっついた飴を取り除く際、左手を駆動部分にかけた状態だったため左手人差し指を挟んでしまい切断した。	29	165	7	30~ 49
2017	5	3~4	食品製造工場の和菓子仕込室にて、粉付け機の粉交換を実施していたところ、通常通り運転した状態で粉を取り出していたが、被災労働者が粉を早く落そうとして、粉付け機の回転部に右手を入れてしまい、右手が巻き込まれて中指の爪が剥がれた。	42	165	7	500 ~ 999
2017	5	11~ 12	工場2階原料投入作業場で、原料を検品台に投入作業中に腰を捻ってバランスを崩し、ポテトチップの油で床が滑りやすい状態であった為、足に力が入らず、転倒してしまった。	69	417	2	—
2017	5	13~ 14	お昼休み工場内で仕事の準備をしている時、荷物を運ぶ台車に躓き、左脚膝と左手親指を負傷した。	64	362	3	30~ 49
2017	5	14~ 15	およそ15ヶ所でパンを販売後、移動するため自車は時速約30kmで直進走行中、交差点に進入した手前で左方（約2m）の相手車を覚知したが、相手車と衝突し、自車は右側に横転して停止した。回避措置を講じる余裕はなかった。自車は移動販売車で、事故当時は惣菜・菓子パンを3割程度積載していた（シートベルト装着）。	39	231	17	10~ 29
2017	5	9~ 10	製造室内で、高所にある空調機吹出口の調整ノズルを回す為、その真下にあった製造機によじ登り、機械ごと左に倒れて右足指を骨折した。	39	165	1	100 ~ 299
2017	5	15~ 16	段ボールにガムテープをコンベアで貼り付ける作業をしている時に箱がずれてしまったため焦ってしまい手がダンボールとコンベア（ゴム）の間に挟まってしまった。	50	224	7	50~ 99
2017	5	14~ 15	商品センターの鉄骨倉庫3階から、折りたたみである新ダンボール箱（86cm×68cm、約900g）×5枚を抱えて階段を下りた際、足元が見にくい状態だったこともあり、2階に着く一段上で左足首を捻ってしまい、そのはずみで転んで右手首と右胸を強打した。時間が	52	413	2	300 ~ 499



			経てば治ると思っていたが、その後も痛みが引かなかった。				
2017	5	11～ 12	2tトラックで配送を終えて帰社した際、トラックに積んである荷物を片付けるため、荷台に乗り荷物を持って降りようとした。荷台からステップに足を乗せたところ、雨で濡れていたため（荷物を持っていたこともあり）滑って、バランスを崩して地面に落ち、右手を強く打ちつけてしまった。	50	221	2	300 ～ 499
2017	5	10～ 11	排水処理施設で苛性ソーダ注入ポンプのエア抜き作業を行っていた際に、空気や液が抜ける部分が目詰まりをし、ナット部分から液漏れを起こし液が右眼に入ってしまった。	46	519	4	50～ 99
2017	5	14～ 15	工場内において、パークッキーの菓子生地を機械に投入する作業中、作業台から落ちそうになったため、体勢を整えようと踏ん張った時に足首をひねった。	37	371	19	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	ゼリー充填機運転中、ゼリー容器の冷却装置に右手人差し指を挟まれ指先を負傷した。	48	165	7	1～9
2017	5	9～ 10	焼成したパンの配列を整える作業において、コンベアに乗ってパンを整えようとしたため足が滑ってバランスを失い、床に落下した。	49	224	1	50～ 99
2017	5	10～ 11	高速包装機でタルトケーキを包装する時に刃部に手を入れてしまい、右手人差し指と中指の第一関節中央から切断した。	52	165	8	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場のネタ場において、練り機にて生地をつくり、容器から出す作業をしている際にボタン操作を誤り、容器の蓋が開いている状態でミキシング（羽根）部位が起動した為、左手を巻き込まれ負傷した。練り機（紛体混合機）容器30?程。	20	165	7	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	きなこ充填室で、充填機を掃除している時、機械が作動中に止まっていると思い手を入れた。急いで手を抜いたが、人差し指が機械に接触して損傷した。	50	165	8	10～ 29
2017	5	11～ 12	当工場内のポン菓子製造所において、ポン菓子形成切断機で作業中、切断機の回転刃周辺に付着した菓子くずを取り除こうとして回	40	165	8	10～ 29

			転を止めずに手を入れてしまい、右手中指を負傷した。				
2017	5	16～ 17	材料が入った番重を持ち上げて機械の中に補充する時に手首を捻った。	41	611	19	100 ～ 299
2017	5	5～6	冷生地包装番重ストッカーにて作業の際、足元を滑らせ転倒し、右手を床につき負傷した。	46	911	2	100 ～ 299
2017	5	2～3	当工場2階のシュークリーム包装場にて、1号包装機から2号包装機に移動する際、早足だったので濡れていた床面に足を取られて転倒し、尻もちをつき、仙骨を骨折した。近くで洗い物をしていた際に床面に飛んだ水はねをモップで拭き上げた直後であり、完全に床面が乾いていなかった。	35	417	2	500 ～ 999
2017	5	5～6	箱詰エリア丸生地ラインの作業が終了し、縦ピロースイングコンベア下部の清掃を行っていたところ、他の作業車が縦ピロー包装機を起動した為、各コンベアが動きスイングコンベアも下降する構造になっており、加工する際にブザーが鳴るが、右手を抜くことが遅れたこともあり、スイングコンベアと生地搬送コンベアとの間に右手が挟まれた。	45	224	7	300 ～ 499
2017	5	11～ 12	1階の惣菜フライヤー室での作業終了後、残った材料を戻すため、1階二次加工の冷蔵庫に行き、原料を格納後、惣菜フライヤー室に戻る時、足元に台車があるのに気付かずに、その台車に躓き顔面から転倒した。その際に前歯2本を折り、床に手をついた時に左手首も打撲した。	66	417	2	50～ 99
2017	5	12～ 13	天吊りコンベア上を流れるビスケット生地を手で細かくする為、移動式架台の天面に上り作業をしていた。移動式架台の位置がずれていた為、両足とも階段部分に移動しようとした際、左足を踏み外し、2段下の階段部分で強打し、強打した左足で踏み切り、右足で着地した際に衝撃で左足首付近を骨折した。（本来は移動式架台	59	371	1	100 ～ 299

			の位置を正しい位置に戻すべきだった。)				
2017	5	2～3	惣菜開梱室から惣菜フライヤーへキャスターを1台、右手に持って運んでいた際に足が滑り、右手側が下になるように横向きに転倒した。	65	417	2	100 ～ 299
2017	5	23～ 24	被災労働者が一次加工室冷蔵庫へ原料を戻すため冷蔵庫へ入った際、入口床が結露で濡れており、その床で足を滑らせ転倒し負傷した。	29	417	2	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	製造ラインにて、クッキー投入機を清掃中、よそ見をして樹脂のスライド部穴に指を挟み、左手人差し指を開放骨折した。	35	169	7	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	製品を保管するラックを、工場内の別の作業場へ取りに行く際、急いでいる状況で、作業台から垂れ下がっていたコードに足を引っ掛けて転倒し、右膝を地面（床）で打った。	41	351	2	100 ～ 299
2017	5	8～9	工場にて、パン生地を成型する一つのラインになっている機械（メーキャップライン）でパン生地を薄く伸ばす作業中に、生地の成型時（カット）に不良品に気を取られ、取り除こうとして手を入れてしまい、左手中指、薬指を切断した。	57	165	8	30～ 49
2017	6	11～ 12	工場敷地内でフォークリフトを使用して機械移動作業中、一旦作業を中断する為、フォークリフトのエンジンを切った。その際、フォークリフトのツメが下がり、機械のバランスが崩れてしまい、機械の前にいたため避けきれず、左足が下敷きになってしまった。	52	222	6	50～ 99
2017	6	6～7	タルトの製造ラインで、流れてくるタルトをケースに入れ台車にのせる作業をしている時に、タルトが溜まってしまい、焦って普段よりも多く持ってしまった状態で、左腕を痛めた。	46	611	19	500 ～ 999
2017	6	11～ 12	工場冷凍ラインの冷凍庫内にて、製品固定の為に巻くラップを持ちながら歩行していた際に、冷凍庫内の床が滑りやすい状態であったことと、冷凍庫用の長靴が滑りを防ぐことが出来ないものであった	50	417	2	500 ～

			為、足が滑って転倒し、右大腿部を冷凍庫床に強打して骨折してしまった。					999
2017	6	13～ 14	仕込室にてクッキー生地 of 混合中に、2工程前の混合時に、回転式パンチングメタルの小麦粉ふるい機が粉詰まりを起こした為、状況を確認しようとしてスイッチを切り、排出ノズルを取り外し、詰まり具合を確認しようとしてホース内に手を入れたところ、パンチングメタルがまだ回転していて、接触して巻き込まれた。	57	165	7	～	100 299
2017	6	13～ 14	被災者はコンビニエンスストアでの勤務中、番重台車を使うため、店舗の外へ取りに行き、両手に1台ずつ台車を持って店内へ戻ってきた。その際、店舗の床面で左足を滑らせて、咄嗟に左手を床面につき負傷した。	26	416	2	～	1000 9999
2017	6	17～ 18	店舗内厨房において、ドーナツ生地を捏ねている作業時に、ボールに卵を入れるためヘラで卵を払ったところ、ビーターが来てしまいミキサーとビーターに右手甲を挟まれて負傷した。	20	165	7	1～9	
2017	6	22～ 23	工場包装室にて、仕込みロボットトラブルからの復旧作業において、ロボット内の小袋を除去しようとした際に、機械が動いてしまい、顔面をぶつけてしまった。患部をぶつけないようにすれば翌日からでも勤務可能との医師の判断であったが、本人が現場に入るのが怖いとの事で、休業となっている。（復帰見込みは未定）	25	167	6	～	100 299
2017	6	9～ 10	工場3階、粳生地乾燥機の生地出口付近にて、乾燥機脇の通路を通行中、足元をよく確認しておらず、天井からの結露水落下対策用のビニールシートの上に乗ってしまい、落下した。落下した際に、左腕を負傷した。	39	391	1	～	300 499
2017	6	6～7	パンの包装をする作業場において、自動包装機でパンの包装をしていた際、パンが詰まってしまった。本来、詰まりを取り除く際には機械を停止してから行わなければならないにもかかわらず、それを怠り、機械を止めずに手を入れてしまい、フィルムを切断する所に指先を挟んでしまい、右手中指の数ミリを切断した。	57	169	8	30～ 49	

2017	6	11～ 12	仕上室に入室する時に、スイングドアの近くに置いてあった台車で、右足の裏の後部を強打した。	56	362	3	50～ 99
2017	6	3～4	工場1階の器具洗浄室で、バースの洗浄を行っていた。熱湯の入ったカップでバースに熱湯をかけた。湯煎槽の方に戻る時に、カップに残っていた熱湯を右足にかけてしまった。長ぐつは着用していたが、ひも締めを行っていなかった為、長ぐつ内に熱湯が入り、火傷を負ったものである。	33	519	11	100 ～ 299
2017	6	13～ 14	当社倉庫の整理整頓中に、バックして来るリフトに気付かず、リフトの左後輪が右足先に乗り上げ、右足親指、人差し指先の骨にひびが入り、親指の人差し指側を4針縫合した。また、転倒の際に後頭部を負傷した。	50	222	7	100 ～ 299
2017	6	13～ 14	スーパーマーケットの特設売り場へ急いでパンを運ぶ途中、入り口付近のタイルが雨の影響で濡れていたため、滑って転倒してしまった。その際、ついた右手首を骨折してしまった。	52	417	2	10～ 29
2017	6	4～5	パン箱搬送エリアにて、ローラーコンベア上のパン箱がストッパーで引っ掛かり停止していたため、ローラーコンベア両サイドの縁に乗り、パン箱の詰りを解消し、右足を前に踏み出したところ、縦幅10cm程度の間隙に右足が入り込み、右下腿を鉄のバーに打ちつけた。	32	224	1	500 ～ 999
2017	6	8～9	工場にて、商品の密閉シールをする機械から、仕上がった商品を取り出す作業をしている時、手元の商品より先に、奥から流れてくる商品を先に取りろうと手を伸ばしたところ、仕切りカーテンの奥まで手が入ってしまい、シールカッターに指を引っ掛けてしまい、左手中指を負傷した。	61	169	8	30～ 49
2017	6	10～ 11	老化室に保管しているパンが載ったラックを移動させる際、ラックの外枠を持って移動したため、他のラックに右手小指を挟んだ。	31	362	7	100 ～ 299

2017	6	16~ 17	本社工場内で、わらびもちの裁断作業中、左手中指がカッター部分に触れて、第一関節と爪の間を骨まで切断した。	19	165	8	30~ 49
2017	6	14~ 15	工場内にて、生産ラインの清掃作業で出た製品ロス（0.9kg）を左手に持って移動していた。その際に足を滑らせて転倒し、右手首を負傷した。	57	417	2	500 ~ 999
2017	6	9~ 10	通常作業で、和菓子製造に使う桜の葉を入れていた容器（60cm幅）を片付けようと、隣部屋のシンクへ向かっていた際、部屋の出口付近に置いてあった台車に気付かず引っ掛かり転倒した。転倒時、左肘を床に強打し受傷した。	54	414	2	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	厨房内にて、生地をのばすパイローラーという機械を使用している時に、ローラーとローラーの間（1.5cm）に手を巻き込んで挟み、被災した。	23	163	7	1~9
2017	6	14~ 15	工場内でチェリー豆に砂糖を絡める作業中、ヘラでミキサー内壁にこびりついた砂糖を取っている時、軍手の手を入れる口（右手）がミキサーの中心の軸のボルト部分に引っかかり、右手首を巻き込まれ、右手首切創と骨折、及び右手親指の神経断裂をした。	60	165	7	10~ 29
2017	6	9~ 10	工場内でプレッシャーミキサー稼働中に、ミキサーの蓋についた生地をヘラで落としていたところ、ヘラをミキサー内へ落としてしまった。ミキサー停止ボタンを押してヘラを取ろうとしたところ、まだ動いていて右親指を負傷した。ミキサー内にはカステラ生地が入っており、停止したかどうか目視では確認できなかった。	21	165	7	30~ 49
2017	6	11~ 12	当社工場2階の倉庫より、ダンボールを1階へ運ぶ際、階段の段差が見えずに足を踏み外して、右足首を骨折した。	43	611	1	1~9
2017	7	3~4	集配業務のため、信号のある交差点を自動二輪車で直進中、対向車線で右折待機していた相手車両が右方を確認しないまま右折したため、当方自動二輪車の右側面に接触し、右足を負傷した。	64	379	11	500 ~ 999
			お客様情報センター2階事務室でデスクワーク中、急いで2m程離れ				

2017	7	14~15	たコピー機に近づこうとし立ち上がった際、机の内側か椅子のアームに足を取られた。足を動かすことが出来ない状態になり、気持ちだけが前に行きそのまま床に直接頭部を強打し、打撲裂傷及び視神経炎症の怪我を負った。	64	417	2	300 ～ 499
2017	7	11~12	マキシコンオイルを保管していた場所から製造場所へ移動したところ、マキシコンオイルが置いてあった保管場が、マキシコンオイルの油で床が滑りやすくなっていたため、清掃しようと洗浄室へバケツを取りにゆっくり歩いていた際に、床が滑って左肩と腰を打った。	34	417	2	—
2017	7	17~18	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	24	391	7	50～ 99
2017	7	16~17	第三工場包装室にてカッター刃の交換中に、カルトンニ合わせ装置で手袋着用せず、カッター刃に触れて、人差し指のつけ根から甲にかけて裂傷した。	34	169	8	100 ～ 299
2017	7	11~12	別作業者が、マキシコンオイルを狭い通路から無理に入れようとした際に、マキシコンオイルの口をカバーしていたビニールが破れ、オイルコックが外れてマキシコンオイルが床にこぼれてしまった。清掃を手伝っていた際に、モップの水切りバケツを右手に持ち歩いていた時に滑り転倒し、背中から倒れ右後頭部と右腰を打った。	21	417	2	—
2017	7	21~22	工場カートンラインで計量機の洗浄中に計量機部品の入ったラックを流し台まで引っぱろうとした時に、腰のあたりに痛みを感じ歩行するのがつらい状態になった。	59	391	19	300 ～ 499
2017	7	15~16	自社工場2Fにて、モップ水掛け床の清掃中、直後の床を歩いた際、少々濡れていたため、滑って転倒してしまった。その際転倒時に後頭部を打ち、その転倒をかばうために左手を床に強くつき、親指の付け根部分を打撲し、腫れてしまった。	51	416	2	30～ 49
			工場一階、包材倉庫で入荷された弁当容器が入っているダンボール				500

2017	7	11~12	(1箱約6kg)を積んでいる際に、右手に大きな負荷がかかり、右腕を受傷した。	49	611	19	~ 999
2017	7	12~13	ゴミ用のコンテナが数台並んでいるところで左手でコンテナを支え右手でゴミをコンテナの中に捨てていた時に、地面に穴があいていたため、コンテナの車輪が落ちて、コンテナが傾き、慌てて左手を引いた時に、コンテナの溝に小指をひっかけて脱臼骨折した。	39	363	5	300 ~ 499
2017	7	12~13	被災者はホイップクリームを積んだ番重(5寸番重8枚および空番重1枚計9枚)と、ジャムを積んだ番重(5寸番重1枚および空番重1枚計2枚)を運搬していた。被災者側に番重9枚、前方に2枚を連結させた状態で通路を運搬していたところ、前方の番重台車が他の原料を載せたパレットにぶつかり、はずみで連結器具が外れ、被災者側の9枚の番重が前方に倒れてしまった。番重が倒れた拍子に跳ね上がった台車が被災者の両脛に当たり被災した。※ホイップクリームを積んだ5寸番重は1番重あたり20kg、8枚で160kg。	44	362	6	1000 ~ 9999
2017	7	20~21	焼成工場加工室にて、マヨネーズの入ったトロ箱を持ち上げようとした際、無理な体勢であったため力が入らず、手が滑ってトロ箱で胸を強打した。もともと胸を痛めていたため、この事故により骨折に至った。	61	379	3	300 ~ 499
2017	7	14~15	チョコレート加工場にて作業を行っていた。チョコレート搬送用コンベアーの受け皿に溜まった粕を取り除こうと受け皿を手前に引っ張った。その際手前と奥側で支えていたフレームの奥側から受け皿がはずれ落下した。その反動で受け皿の手前側が跳ね上がり、受け皿とコンベアー受けローラー取付用アングルの間に左示指を挟み負傷した。	20	224	4	500 ~ 999
2017	7	10~11	被災者は、蒸しラインにて紙敷きの作業をしていた。切り替えのため、ゴムベラを持って仕込み場へ移動し、ゴムベラを洗い終わって元の作業現場へ戻ろうと左に体を反転させた際、左足をグレーチングで滑らせ、転倒し被災した。また、被災者は膝の調子がもと	60	416	2	500 ~



			もと良くなく、下半身の筋肉の衰えを自覚しており、踏ん張りが利きづらい状態であった。					999
2017	7	14~15	当社工場内において、包餡機を使用し餅菓子を製造していたところ、ベルトレール部に小さな不良品があったため、除去しようとした際、機械を作動させたまま左手を奥に入れてしまい、包餡機可動部に左手先が当たり、中指先を負傷した。	58	165		7	30~ 49
2017	7	12~13	冷凍庫内で商品の片付けをしている時に約1メートルの高さの脚立から落下して膝と腰を強打した。	54	371		1	30~ 49
2017	7	8~9	職場工場の中庭で草取り作業中に左手小指を地面に突いてしまい、その後、小指が動かなくなってしまった。	43	719		3	50~ 99
2017	7	7~8	帰宅しようとして事務所稲沢側階段を下りる際に階段を踏み外し、落下（3階より、真ん中にある踊り場まで落下）。本人の意識はある状態であったが、落下の際に頭、右腕を打ったと思われる（階段を下りる際に手すりは持っていなかった）。	19	413		1	300 ~ 499
2017	7	13~14	工場内にて、団子の生地の入ったタライ（50kg超）を持ちあげたところ、腰と背中に痛みを感じた。	28	379		19	10~ 29
2017	7	0~1	V4ラインにて耳生地コンベアーの生地を処理するため餡鉢を台車に乗せ通路を通行していた時、直前に豪雨があり雨もりが発生し床面が濡れていたため転倒しそうになり、回避しようと踏ん張ったが転倒し右足を負傷した。	53	417		2	300 ~ 499
2017	7	16~17	二次包装室で作業台とベルトコンベアを使用し、マフィンを受け取り検品作業中作業台が動き、ベルトコンベアに隙間が生じ、誤って左親指を挟んでしまい骨折した。	35	224		7	50~ 99
2017	7	15~16	ビスケットを搬送するベルトコンベアの駆動ローラー部近辺で、布巾を用いてベルトを拭きあげる作業を実施した。ここは、指示している作業箇所ではなく、作業者の勘違いによる間違った箇所であった。（プラチェーンと表示にて危険箇所であることを明示し	50	224		7	100 ~

			ていた) 作業開始直後、布巾が駆動ローラーに巻き込まれると同時に、右手が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。				299
2017	7	13~14	菓子工場1階にある製品粉碎機の機械上部の安全カバーを取り外し、キッチンペーパーを使って清掃しようとしたところ、機械の電源を切っておらず、ローラーの停止も確認しなかった。キッチンペーパーがローラーに接触し、右手中指、薬指、小指の先端が挟まれ裂傷した。	56	163	7	10~ 29
2017	7	12~ 13	店のトイレで靴を履くときにトイレの扉の間に手をついていたため閉じてきた扉に左手小指を挟んで骨折した。	31	419	7	10~ 29
2017	7	23~ 24	洗浄室で寸胴を洗浄して、充填機を避けて回り込むように歩いたときに、普段通らない場所を歩き、床が滑り転倒し、右腰から落ちた。転倒時、充填機に接触しないように無意識に体をひねり、変な転び方をした。	52	417	2	100 ~ 299
2017	7	16~ 17	アイス製造充填機の階段を、空のアイススティックケースを持ちながら降りる際に転倒し、腰(左後背部)をぶつけてしまった。	20	413	2	300 ~ 499
2017	7	14~ 15	当社工場内において、脚立に登り換気扇の清掃をしていたところ、誤ってバランスを崩して落ちてしまい、階段の柵に右横腹を打ち、負傷したものである。	56	371	1	30~ 49
2017	7	9~ 10	バームクーヘンを裁断後、次の作業として刃を移動しようと押さえていたところ、刃が手に当たり負傷した。	47	364	8	50~ 99
2017	7	17~ 18	生産管理業務を担当していた被災者は、上司による日々の業務指導から始まる業務の適正な範囲を超えた発言により、過度の精神的なストレスを受けた。疲れが溜まり、精神的にも身体的にも苦痛となり、病院へ行ったところ、うつ病と診断された。	48	921	90	50~ 99
			秋の作業が始まる前日、栗を圧して実を取り出す機械の準備にとりかかり、スイッチを入れて清掃していたとき、誤ってローラーに手				

2017	7	15～ 16	を入れてしまい、指が切断された。被災者一人が部屋にいて機械を動かしていたため、他に目撃者もなく、本人もよく覚えていないということで詳しいことは分からないが、ローラーに巻き込まれて指を切断したものである。	45	165	7	30～ 49
2017	7	0～1	菓子パン製造ラインの焼成場を歩いていたとき、作業者用のスポットクーラーの電源コードに足を引っ掛けて転倒し、床に右膝を打ちつけて被災した。	60	417	2	1000 ～ 9999
2017	7	10～ 11	えびせんべい製造工場内で、製造中のせんべいに味付する機械が急に止まってしまったため、ベルトの動きを手で助けつつ、機械の調子を見ていたとき、ベルトに巻き込まれて、右手中指を負傷した。	63	165	7	1～9
2017	7	13～ 14	ビニール袋に入ったチョコレートの再利用品を10kg入りにするため、台車からビニール袋（14kg程度）を秤にのせる際、腰に違和感を感じたが、大事には至らないと自己判断し、報告をせずにそのまま通常の作業を続けた。	47	611	19	500 ～ 999
2017	7	6～7	製品をダンボールに手詰めするラインにて、作業場近くにダンボールのストックを積んでいた。組立前のダンボールを10枚ほど持ち、ストックの上に積もうとした際、普段より高く積もうとしたため、右手首を捻り、筋を痛めた。また、ダンボールの端を持っていたため、手首に過重な負荷がかかってしまった。	42	611	19	1000 ～ 9999
2017	7	23～ 24	工場の粉置場の清掃を行っていたとき、粉袋を台車に乗せたまま（通常は台車に粉を乗せない状態で行う）清掃を行おうと、台車の天板を持って動かした際、天板と下部のキャスターの間に指が挟まり負傷した。	38	362	7	300 ～ 499
2017	7	4～5	被災者は、作業終了後に機械を清掃していた。機械の別の場所を清掃しようと移動したとき、濡れた床面で足を滑らせ転倒し、頭部を床の水よけガイドに打ちつけて被災した。	51	417	2	1000 ～ 9999
2017	7	13～	店舗入口にあるショーウィンドウ内で、ディスプレイ作業中、脚立に乗って高所に布地を取り付ける際に、脚立の設置が不十分だった	43	371	1	100 ～

		14	ためか倒れてしまい、その上に背中から落下し、胸椎を骨折した。					299
2017	7	6～7	当社工場内のピロー（個包装）包装室内で、個包装機械のスイッチを入れたあと、個包装機械の横に置いてあった個包装後の飴を一時保管するための段ボール箱に足を取られ、横転して尻をついたとき、左足の付け根辺りを骨折した。	64	611		2	30～ 49
2017	7	16～ 17	焼成室のオーブンの前で、天井の穴を塞ごうとして、4段脚立をはしご状にして、換気扇フードに立て掛け、支えの補助を頼まずに一人で昇り始め、3段目まで上がったところで脚立の脚が滑り、床に落下して右足の甲を強打し、右足首付近を剥離骨折した。	51	371		1	30～ 49
2017	7	18～ 19	包装場において、アルコールを噴霧する製品があるため、包装機の下に溜まったアルコールバケツを交換しようとし、他の作業者がこぼしてしまい、先にバケツに溜まったアルコールを捨てに行っている間に、被災者が通りかかり、足を滑らせて被災した。	56	417		2	1000 ～ 9999
2017	9	18～ 19	被災者は、キャラメル製造機のちねり機から包装されたキャラメルを落とす作業中に指が挟まれ受傷した。	25	165		7	50～ 99
2017	9	20～ 21	屋外に設置された制御盤に向かう途中の通路で雨により床が濡れていた為、足を滑らせ転倒した。その際、左手を床に打ち付け左手首を損傷した。	47	417		2	500 ～ 999
2017	9	0～1	作業終了時の清掃作業で、本仕込みミキサー清掃の為、脚立に登ったところ、脚立の位置が悪かった為、脚立に登ったまま位置を移動させようとして、脚立ごと転倒し、左脇腹を打撲し受傷した。	49	371		2	100 ～ 299
2017	9	12～ 13	工場内コンベア清掃場所で、コンベアの清掃時、コンベアの電源が入ったまま、煎餅カスを取り除こうとコンベアのすき間に手を入れて、着用していたアームカバーがコンベアに引っばられた際、左手首を挟まれた。	49	224		7	100 ～ 299
			ドリルを使用し小さなステンレス板にネジ穴を開ける作業中に、板を左足で押さえ右腕でドリルを持ちスイッチをONにして穴を開け					100

2017	9	10～ 11	た後に、スイッチがON固定になっている事に気付かず押さえていた左足を離れた事で板が回転し右太ももにあたり、切傷したものである。	34	522	6	～ 299
2017	9	13～ 14	製造中に出たチョコレートの廃棄品を置く為、体勢を低くし立ち上がる際に右膝に痛みを感じ、痛みが引かず歩行も困難の為、同日に医者に診てもらう。	55	999	99	～ 299
2017	9	10～ 11	十勝バタースティック生産中、整形室にてツイスター下部のベルトに付着した生地を取り除こうとした際、軍手をして除去していたところ、除去しきれなかった生地を追いかけてテンションローラーに近づき、テンションローラー上部の隙間に軍手の先が入り、そのまま腕まで巻き込まれたものである。	24	165	7	～ 999
2017	9	13～ 14	工場のパイ製造室でパイローラーを清掃中に、機械に清掃用タオルが巻きこまれ、それと一緒に左腕も巻きこまれた。	31	165	7	10～ 29
2017	9	1～2	チョコレート包装室において、清掃中にコンベアのカバーを外し、ベルトを稼働させながらコンベア内の治具を清掃中に、駆動チェーンと sprocket に左手の中指が巻き込まれて、左手第三指先端を負傷したものである。	23	224	7	～ 999
2017	9	18～ 19	ケース出し作業中に走り、その際左足ふくらはぎあたりに少し痛みを感じた。作業終了後、作業をしていた横の階段に登ろうとした時に、左足ふくらはぎに激痛が走り動けなくなった。	51	413	19	～ 499
2017	9	14～ 15	工場洋菓子3課フィナンシェラインにおいて、焼きあがったドーナツを天板から抜く作業を行っていたところ、天板と抜き台に右手薬指を挟んでしまった。その後、痛みはあったが自然に治ると思い数日仕事を続けたが、腫れがひどくなったため、病院を受診した。	60	165	7	～ 9999
			上記日時頃、工場内にて饅頭を蒸すのに並べる網（縦63cm横52cm重さ1.6kg）を空の状態70枚ほど重ね（高さ45cm）台車に載せ2人で運ぶ作業中、一人は台車をバックで動かし、被災者は対面して				10～

2017	9	8～9	網が崩れないように両端を両手で支えていたが、身体のバランスを崩した時、網が5～6枚崩れてきて無理に抑えようとしたため、横に設置している饅頭スチーマー機と網との間に左手小指側を挟み骨折したものである。	61	611	7	29
2017	9	15～16	ミキサーボールを洗浄の為、台車に載せ右手で台車を押しながら左手でミキサーボールを押さえていたが、台車の車輪が床の穴にはまり、横にあった別の台車で体を支えようとしたところ、転倒した。その際、ミキサーボールと台車の間に左手親指が挟まり骨折したものである。	61	379	2	100～299
2017	9	1～2	工場内で包装機のベルトが機械の不具合でとまってしまった。ベルトを引っ張れば動くと思い、ベルトローラー部付近に手を入れ、他の作業者がスイッチを押して稼動状態にして、ベルトを引っ張るつもりだったが、予想以上にベルトの回転がはやく、ベルトとローラー部に指を挟まれ負傷した。（本来故障しているベルトとは違うベルトをさわっていた。またカバーはついており、開けると機械は止まる構造になっているが、カバーのすき間に手を入れていた。）	36	165	7	300～499
2017	9	5～6	清掃時に使うエアホースが床をはっている所を通る際に、踏みつけて転倒した。	57	417	2	100～299
2017	9	8～9	始業時の全体朝礼を、工場第1棟2Fの通路で行っていた際、長時間起立（15分程度）状態にあつて、本人が生理中でもあったためか、貧血状態で意識がうすれ、直立のまま前方に受け身をとらない形で倒れ、床面に顔面を強打、顎の骨折、前歯1本を折ったものである。	19	921	2	50～99
2017	9	23～24	出勤前、構内歩道を歩行中、街灯もなく足元が見えづらくなっていたため、道路に凹みがあるのに気づかず、足を引っかけて転倒、その際、左足首をひねり、左足首腓骨骨折と診断された。	53	417	2	100～299

2017	9	21～ 22	オーブンから焼き上がって出てきた製品に、つや出しコート液が塗られていなかった為、コート塗り機の状況を確認する為に機械の方へ歩いて足早に移動している時に右足を捻った、当日は大した事がないと思い、報告せずに帰宅し、シップをしていた、その後2日間勤務した後の休日に大きな足の痛みを感じ、病院にて受診したところ、骨折であることが判明した。	49	417	2	300 ～ 499
2017	9	4～5	清掃作業中に、他の作業者の後ろを通ろうとした際に、通常は棚が置いてあるスペースに棚がなかったため、空いているスペースに足を踏み込んだところ、足を滑らせ転倒し、頭を強打した。	42	417	2	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	冷凍庫内で、カゴ台車を反転させる際、カゴ台車が倒れ下敷きになり足に荷重が掛かったことで骨折した、カゴ台車が倒れた原因は後輪が水平になったことと、動かす際上側を持って作業を行ったことで、「てこの原理」で反転してしまったことが原因となる。	44	379	5	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	ハート1F場内にて資材の運搬をしていて、死角にあったパレットにつまずき前面にたおれた、その時、右手左足と顔を打ちつけた。	50	379	2	100 ～ 299
2017	9	10～ 11	クレーン解体の為後退中、車体が右側に傾き、転倒する、その際、体を打ちつけ骨折など負傷する。	65	921	2	1～9
2017	9	12～ 13	ちんすこうの材料を台に乗り成型機に入れる際、バランスを崩し倒れ右手中指に体重がかかり骨折したものである。	24	416	2	50～ 99
2017	10	12～ 13	終業後に2階の更衣室で着替えて退社する際、階段で一階へ下りる時に滑って足をひねり、左足首の靭帯を損傷した。	56	413	19	10～ 29
2017	10	12～ 13	被災者は蒸しパン包装場での蒸しパン包装作業に従事していた。担当していた作業は包装機に製品を流し入れる作業者に対し、ラックから蒸し網ごと作業台に製品を補充する役割であった。その作業中、次の蒸し網をラックから取り出そうと体を横に向けたところ、体のバランスを崩して床に転倒しそうになり、咄嗟に左手を床に着いて手首部分を負傷したものである。	56	921	2	100 ～ 299

2017	10	8～9	工場生産を休みとして全員で健康診断を受診することにした。自宅を出て工場へ向かう途中にてカーブを走行中、ハンドル操作を誤り焦ってブレーキとアクセルを踏み間違え、縁石に乗り上げガードレールと標識にぶつかり、交通事故をおこした。	20	231	17	10～ 29
2017	10	11～ 12	バンドライン棒延し機（棒生地製造）で、しん粉（だんご）を成形（延期運転）作業中、しん粉がコンベアのしん粉カッターに引っ掛かった。カバーを開けしん粉を出口側へ押し出そうとした際、インターロックを自ら押下し解除してしまった。これによりカッターが動き出してしまった。右手、手の平親指付け根から数センチの裂傷、及び神経切断。	21	165	8	100 ～ 299
2017	10	1～2	仕込工程で生産終了後の掃除作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いを入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	391	7	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	チョコレートの溶解タンクに、原料のチョコレートの粒をボウルで入れながら作業をしていたら、チョコレート溶解タンクの回転バーの上にチョコレートの粒が残っていた為、回転しているバーに左手でマイナスドライバーを持ち、落とそうとしたら、チョコレート溶解タンクのバーと溶解タンクの周囲に左手が巻き込まれてしまった。	65	165	7	30～ 49
2017	10	22～ 23	ダクワーズ2号ラインの菓自動投入機の不具合があり、機械の稼働を停止し調整を行った。その後機械停止を解除したところ、別の作業者が調整が終了したと思い、稼働スイッチを押したが、それに気付かず、調整のため機械に指を近づけたところ、挟まれて指を損傷した。	43	165	7	100 ～ 299



2017	10	15～ 16	工場内の水平切スライサー（スポンジを切る機械）の刃を掃除する為、刃枠ごと本体から外し、刃（波刃）をタオルで拭いていた際にタオルが引っかかり、持っていた右手人差し指が誤って刃に触れ、切ってしまった。	59	364	8	50～ 99
2017	10	22～ 23	オーブン6号出口の搬送コンベアでオーブン4号オペレーター中に隣ラインでチェーンのたるみがでっばりに引っ掛かり止まってしまった。そこで、駆動を停止せずに、復旧作業をしようとした為急に歯車が動きだし、右手小指を挟んだ。	38	224	7	300 ～ 499
2017	10	6～7	包餡機を使い作業中、包餡した菓子がベルトコンベアーから落ちた為、安全カバー内に手を入れ駆動部に、小指を挟み切ってしまった。	23	224	7	50～ 99
2017	10	19～ 20	製造工場内のシンクにて、仕込んだカードルケーキに使用したステンレス製の型枠をスポンジと素手で、シンクにお湯を張り浸け置きした状態の物を洗浄中に、右手でスポンジを持ち、型枠を挟んだ状態で、勢い良く右にスライドさせた際に、型枠が右手人差し指の関節に丁度当たってしまい、鋭く切開してしまった。	35	391	8	30～ 49
2017	10	18～ 19	味付のざらめ掛けの作業で、ざらめが出て来る穴が詰まっていて、直そうとした時に、機械を止めずに穴に指を突っ込んでスクリューに指先を巻き込まれたもの。	30	165	7	300 ～ 499
2017	10	11～ 12	菓子包装室で作業中に包材を取りに保管場所に向かう途中、作業中の方の足に引っ掛かり、前のめりに四つん這いの体勢で転倒。その際、両手と両膝を強打し、膝が腫れてきた。	68	417	2	50～ 99
2017	10	7～8	被災者はパン成型ラインにて粉払い・ブラシに付着していた生地を取り除こうとしたところ、ブラシに指を巻き込まれて被災した。	52	224	7	1000 ～ 9999
2017	10	15～	休憩室を出ようと床に段差を降りた際、右足を床についたらまだ痺れが残っていて姿勢が乱れ、続いて左足を床についたとき左足首を	47	921	2	10～

		16	捻る形になってしまい段差を降りた勢いのまま前に転倒、この際左足首を負傷した。					29
2017	10	13～ 14	団体でご来訪のお客様を台風前の強雨の中、民家から売場に案内したとき、お客様から代表商品「あも」の山積み陳列の最上部にカメムシがいるとの指摘があり、急ぎバックヤードからキッチンペーパーを持って売場へ戻るときに出口のケーブルカバーで滑り商品保管棚で左背中を強打し、肋骨を骨折したものの。	51	417	2	～	100 299
2017	10	15～ 16	本社3Fの調理室でスライサーを使って食パンの耳を切りおとししているとき、後ろで人の気配を感じて振りむいた。気づいたらスライサーの歯に左手人指し指があたり切れた。	49	165	8	30～ 49	
2017	10	14～ 15	通用口付近に於いて、配送車輛に荷物を積み込み中、荷台から降りようとしたところ、足を滑らせ転落、左手橈骨（とうこつ）を骨折したものである。	59	221	1	—	
2017	10	14～ 15	生地棟1階乾燥場10号生地乾燥機稼働中に異常音があり、不具合を治そうとテンション調整部分のボルトをスパナで回すため、Vベルトカバーに左手を着いたところ、軍手がVベルトに巻き込まれ、左手を負傷した。	52	165	7	～	100 299
2017	10	14～ 15	製造場所でケーキ製造時に、缶切りを使用して缶の開缶部を持ち上げようとした時に、手を滑らせ開缶部と接触し、手を怪我した。	42	364	8	1～9	
2017	10	10～ 11	被災当日、本社工場内にあるパイ切断機でシート状のパイ生地を焼き上げるためのカッティング作業を行っていた。カットされたパイ生地を自動で流れてくる天板（55×40センチ）に並べる工程で、生地と1枚目の天板が流れてくるタイミングがずれていたためか、カットされた生地が天板から床に滑り落ちそうになっていた。そのための焦りからか誤って天板搬送用のチェーンに右手小指が入ってしまい、チェーンとギアの間に挟まれた形で負傷した。	21	224	7	30～ 49	
2017	10	17～	生産ライン稼働準備のため、移動していた際窒素トンネルの冷気がいつもより強く、床面が凍結しており、滑って転倒し、右手をつい	68	418	2	～	100

		18	た際、右手首を骨折した。					299
2017	10	9～ 10	冷凍庫で、ケーキのラックを運搬中、ラックが床にひっかかり、ラックが倒れてきたので受け止めた際手を痛めた。	31	362	6	～	100 299
2017	10	14～ 15	包装工程の荷積み作業中に、別の作業員の動きに気づかず、ダンボール箱を受け取ろうとして、ラインに近づいた際、別の作業員が持っていたダンボール箱が左眼に当たり負傷した。	38	611	6	—	
2017	10	21～ 22	工場内の第二成型室で、器具の洗浄作業時ミキサーボールを専用の台車に乗せて運搬している時、ミキサーボールが台車に正しくセットされておらず、ミキサーボールがずれてバランスを崩し、ミキサーボールと器具殺菌用の容器とで指を挟み、負傷した。	37	391	7	～	100 299
2017	11	22～ 23	工場内にて味付け工程で切替清掃をしていた際、味付け分配コンベアが蛇行し、ベルトがフレームと接触しそうになった為、ベルトを手で押し戻そうとして親指が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。受傷後、業務を切り上げて病院を受診したが深夜の為翌日になった。	22	224	7	～	100 299
2017	11	10～ 11	現場法面の立木をチェーンソーで切り倒すために、途中まで切り目を入れたところで倒れても安全な場所に移動しようとした時に足を滑らせた。その傍に切株があり、それに腕・脇をぶつけた。その際、チェーンソーのエンジンは切っていた。	64	165	19	～	100 299
2017	11	13～ 14	個人宅リフォーム工事現場において軒天外部工事中、下地に木を取り付ける際、左手親指に木のトゲが刺さり負傷したものである。数日後に指が腫れ痛みがあるため病院へ行った。	56	169	7	～	100 299
2017	11	7～8	自転車で出勤した際、店舗敷地内駐車場に張っていたロープに気付かず、引っ掛かって転倒してしまい、左肋骨を骨折した。	56	417	2	～	300 499
			荷下ろしをしている時にパレット上にある荷物（長辺465mm×短辺					

2017	11	11～ 12	250mm×高さ183mm、重さ11.2kg、40ケース）をハンドリフトを使用して運ぶ際に、荷物を引いた時に1m下に転落し左足のみで着地した為踵骨を損傷した。	53	379	1	100 ～ 299
2017	11	18～ 19	1階成形室にて、食パンラインのクロスモルダーの定期メンテナンスで、ギア部分に注油を機械を稼働させながら行っていた。右手にオイルポットを持ち、左手でギア部分から垂れる油を受け止める為に軍手をした状態で、ギアの下に差し込んだ際に軍手ごとギアに巻き込まれ、左手中指の第一関節から先と左手人差し指の爪先を切断してしまった。	28	121	7	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	取引先校門前で、トラックの荷台に空のパン箱を積み込み中、後ろ向きの状態でトラックから降りる際、着地場所に段差があり、足首を強く捻ってバランスを崩し転倒した。（荷台から一段下がった昇降用ステップを左足で踏んで右足で地面に着地）病院で骨折と診断された。	45	221	2	30～ 49
2017	11	9～ 10	工場内にて、クッキーを製造する際、生地を絞り出し、カッターで切りオープンへ入れる途中の作業で、形の悪い生地を取り除く時、誤ってカッターに指が入ってしまった。	40	364	8	1～9
2017	11	14～ 15	工場内製造1課調合部門で勤務中に、工場外のゴミ置き場まで台車に積んだゴミを捨てに向かっている途中、通路横に積んであった空の一斗缶が崩れ落ち、右ふくらはぎに一斗缶の開口が当たり、裂傷を負った。	36	611	5	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	工場内1階サンド機で作業中、生地が入ったセイロが正常に重なっていないことに気が付き、直そうとセイロを持とうとした際に、右手人差し指をセイロと台の間に挟んでしまった。右手人差し指を亀裂骨折してしまった。	45	379	7	100 ～ 299
			工場内において、被災者が高さ1.8mに設置されている半自動洗米機のタンク（安全柵設置）に水を入れる作業中、水道水を止める				

2017	11	11~ 12	為、タンク設置箇所に登ろうと据付の梯子を登ったところ、手が水で濡れていたため、滑り、その際梯子3段目（高さ1m）おり後向きに転倒し、首部、腰部及び全身をコンクリート床で強打し、打撲負傷した。当日は痛みをこらえていたが、翌日痛みが増した。	67	371	1	50~ 99
2017	11	1~2	工場菓子製造課ミルクレープラインにおいて、被災者が作業で使うヘラを取りに急ぎ足で歩き角を曲がったところ、左足を滑らせ転倒してしまった。その際、その場にあったゴミ箱に左脇腹をぶつけてしまい負傷した。	58	417	2	500 ~ 999
2017	11	15~ 16	工場洋菓子製造2課冷凍ケーキラインにおいて、被災者が番重供給作業中、トラブルが発生したためそこを直そうとその場に向かって歩いていたところ、途中に置いてあったパレットに躓き転倒し負傷した。	49	379	2	1000 ~ 9999
2017	11	13~ 14	ガナッシュ（チョコレート）を切断機を使用しカットしている時に、安全ガードを越えて手を出してしまったことにより、切断機に指を切られてしまった。	41	165	7	100 ~ 299
2017	11	9~ 10	パンコーナーにて品出し中に反対側の棚にも品出しをしようとして、振り返った際に、近くに置かれていたパン箱に躓き転倒し負傷した。	66	417	2	500 ~ 999
2017	11	3~4	作業場で洋菓子をオーブンで焼いている時、オーブンプレートを取り出す時に誤って手に当たり、左手首と右手人差し指に火傷を負った。	34	165	11	500 ~ 999
2017	11	10~ 11	工場1階でアイスクリーム充填機が動いている時に、注ぎ口付近をダスターで拭き掃除しようとしたら機械に挟まって、人差し指が創傷し骨折した。	44	165	7	50~ 99
2017	11	10~ 11	1Bゴーフル焼成室通路で、休憩室から職場に戻ろうと歩行中、角を曲がったところで踵が滑り仰向けに転倒した。お菓子の粉で床が滑り易い状態だった。転倒した際、左手を床につきその衝撃で左肩を負傷した。	50	417	2	100 ~ 299

2017	11	9~10	本社工場内において、スライサーでキャベツをスライスする作業中、マニュアルでは野菜がスライサーに挟まっても、スライサーの動作中は取り除いてはいけないことになっていたが、スライサーが動作中にも関わらず、挟まったキャベツを取り除こうとしてしまった。その際スライサーの刃が左手中指に触れてしまい、左手中指の末節骨を開放骨折した。	21	165	7	—
2017	11	10~11	包装室で個包装作業中に包装機にフィルムが詰まり取り除いた時に、左親指を回転している機械に挟まれ親指を切る。	45	169	7	30~49
2017	11	8~9	第2焼成室にてデポジッター投入作業中、脚立を降りようとした時に操作パネルの角にぶつかって、目の上を切った。	23	391	3	100~299
2017	11	21~22	洋菓子仕上げ室で担当場所を変わろうと移動中、床が手袋消毒用塩素水で濡れていることに気付かず右足が滑り、転倒しないよう右手を床に着いた時、右手首を骨折した。	50	417	2	100~299
2017	11	12~13	昼の休憩が終わり3階から2階の仕事場に戻る時、階段で足を踏み外し、3~4段右側を下に滑り落ち右肩などを負傷した。	52	413	1	50~99
2017	12	15~16	倉庫で、配送車のパン箱をコンテナ内のローラーを使って倉庫に降ろす作業を行っていた。作業終了後に、配送車のコンテナ（高さ110cm）から手すりを掴まず後ろ向きで降りようとした。その際、勘違いをしてステップが無い場所に左足を降ろしてしまったため、そのまま地面に落下し、左手首を地面に強打した。	62	221	1	1000~9999
2017	12	13~14	来客対応の際、3階事務所より階段を下りている時に清掃作業をしていた為、床が濡れており足を滑らせて転倒し負傷したものである。	42	413	2	10~29
2017	12	17~18	被災者は、製品の切り替え作業時に、カッター機内にある生地のカット重量を感知するローラー部分が回転していないことに気づいた。そのため、機械を停止せずにカッター上部のアクリルカバー	19	165	8	1000~

			を開け、左手でローラー部分を押し回転させようとした。その際、ローラー部分に重量がかかり、カッターが作動し、刃が下りてきて被災した。				9999
2017	12	14~15	物置に一時保管している食パンを取りに行く途中、地面の凍った所で転倒して、右手首を骨折した。	65	719	2	10~ 29
2017	12	9~10	せんべいの製造工場内でバターせんべい焼成器の漏斗状の部分に生地を流し込み、残り少なくなった生地を集めたときに奥まで手が入ってしまい、スクリュウに右手首から右尺骨を挟まれた。	44	165	7	10~ 29
2017	12	11~12	他工程の応援からパンニング室に戻り、帳票類がある作業台で書類を確認し作業に戻る際に、台車にのった冷生地番重の脇を通ろうとした際に、台車に足が引っかかり転倒し負傷した。	58	416	2	500 ~ 999
2017	12	7~8	ひざ上の高さに積まれていた番重台車（パンケース用の台車）を4台持ち上げて運ぼうとした際、腰に負担がかかり負傷してしまった。	55	921	19	500 ~ 999
2017	12	13~14	お昼の休憩後、休憩室入り口にて靴の履き替えをしようとした時、誤って転倒した。段差はなく、滑る場所ではなかった。	59	417	2	30~ 49
2017	12	2~3	仕上げラインで、番重を台車から下ろして品物をラインに流す作業を行っていたとき、右手を痛めた。	52	611	19	300 ~ 499
2017	12	20~21	被災者は、事業所冷凍倉庫内を歩行中、側面から、製品の積まれたパレット（高さ計1,955mm）を移動しようとしたフォークリフトが接触した別のパレットと、壁面に置かれていた鉄製の台車との間に両足を挟まれ、被災した。移動させようとしたパレットが、相互に完全な死角を作り出していた。	47	222	7	100 ~ 299
2017	12	2~3	2Fパンニング室仮置庫内で、庫内の整頓中、冷生地の入ったプラコンが積まれている台車がずれていて、台車前方から番重と台車の間に手を入れて引っ張ろうとして、左手中指を挟んだ。	56	379	7	300 ~ 499

2017	12	23~24	換気設備がなく空調機しか設置していない閉鎖的な室内で、殺菌用にお湯に300ppmに希釈し気化しやすい状態の次亜塩素酸Na水溶液を、およそ8?入れたバケツを4つ設置し、また、同水溶液に浸したタオルを使用してイチゴのヘタ取り業務に従事していた。時間は2日間で合計19時間で、業務中に咳や喉の痛みといった体調の変化があり、勤務後に病院で原因を診断した結果、「塩素中毒」と判明し、職場環境および従事業務に起因して発症に至ったと考えられる。	21	514	90	100 ~ 299
2017	12	15~16	デスクにて着席した状態で事務処理作業中、自分自身で引き出した封筒入れの机の引き出しを元の位置に戻さず立ち上がり、引き出したままになっていることを忘れ歩き出し、そこに腰元が引っかかり転倒してしまった。その際、股関節を骨折してしまった。	63	416	2	30~ 49
2017	12	2~3	製造現場のスポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具が入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくりと転倒した（両肘と両膝で四つん這いの格好）。長靴の靴底の滑り止めがすりへり、ツルツルの状態であった。	47	417	2	300 ~ 499
2017	12	2~3	ケーキ製造作業でパレット（ケーキを掬うナイフのような物）を使って、コンベアーからケーキをトレイに移す作業をしていた。その際、パレットを持った右手中指の神経を圧迫してしまい、中指第二関節から指先までが引きつった状態となってしまった。	26	364	19	300 ~ 499
2017	12	16~17	スチーマー室において、5S活動中、スチーマー室の出窓の掃除をしていて、脚立でスチーマーの上にあがり作業をして降りるときに、スチーマーの上から脚立に移る際、踏み外し落ちた。	60	371	1	30~ 49
2017	12	6~7	工場菓子製造課パイ饅ラインにおいて、被災者が製造準備中、床が滑りやすい状態になっており転倒した。その際に右手を包餡機粉受けカバーについてしまい、右手人差し指と中指の間を切り負傷した。	30	165	8	100 ~ 299
			店舗営業時間終了後、残った商品を指定された製造工場内の冷蔵庫				



2017	12	18~19	に入れるため、工場内を歩行していた際、工場内清掃中の現場が、モップによる拭き清掃のため表面が濡れていたため、滑って転倒し、左腕を床に打ちつけた。	56	417	2	30~ 49
2017	12	16~17	本社工場1F野菜原料庫内で、他の社員と2人で排水柵を清掃するため、排水柵の上のパレットを持ち上げた際に、横に積み上げていた荷が崩れてきた。それを手で支えようと持ち上げていたパレットを放したため、足の上に落下し、受傷したものである。	51	521	4	300 ~ 499
2017	12	11~12	工房内において、パン生地成形機を掃除中、電源を止めてローラー上部の蓋を外して掃除すべきところを、蓋を外さず、起動している状態で、ゴム手袋をして布巾でローラーを拭いていたところ、布巾がローラーに巻き込まれると同時に手袋も巻き込まれた。指がローラーに挟まったため、直ぐに電源を停止させた。	45	165	7	50~ 99
2017	12	16~17	被災者は、当社パン工場内で清掃を行っていた。濡れたモップを掛けた床を急いで移動しようとしたところ、足を滑らせて転倒した。その際、床に右手首を強くぶつけ、骨折した。	50	416	2	30~ 49
2017	12	17~18	事業場工場内にて、パン製造成型台を手を持つ形で洗浄作業を行い、誤って手を滑らせ、成型台を足の上に落下させた。	28	379	4	30~ 49
2017	12	18~19	作業が終わって清掃しようと、バケツにお湯を入れ、蛇口を閉めたとき、誤ってお湯がこぼれ、右腰部分にかかった。	49	341	11	100 ~ 299
2017	12	11~12	工場包装課2FのMA1号機（小箱に玉ガムを詰める工程）で、機械近くに積んであった小箱の入ったダンボール（約10kg）を作業台に載せるため、中腰で持ち上げたところ、バランスを崩して転倒し、床に左膝を強打し負傷した。	55	611	2	50~ 99
2017	12	16~17	スイーツ工場において、パイ室のパイマシーンを使用し、チーズケーキグラハムクラッカー（ブロック状）の生地を、2つのプレス工程を通してシート状にする作業をしていた。最終工程で、小さい生地を機械へ入れようと投入口に手を入れて巻き込まれた。	60	165	7	500 ~ 999

2017	12	8~9	ミニパンラインのクーリングコンベアステージ上で、脚立の天板（高さ83cm）に乗ってコンベア上部のカバーシートを交換しているときに、脚立の両側にあるストッパーを片方しか掛けておらず、脚立が急に閉じて倒れ、転落して腰を強打し、被災した。	51	371	1	100 ~ 299
2017	12	8~9	商品切り替え清掃時に、急いでいたために現場内を走り、管理板を支える部分に躓いて転倒し、左膝を打ち負傷した。	51	417	2	1000 ~ 9999
2017	12	5~6	食料品製造で衛生上のため機械を洗い場まで持って行き、その機械を分解して清掃中、ギアの一部部品が固くて取れなかったため、ナイフでその部品を取ろうとしたときに手元が滑り、左手親指を切ってしまった。通常は専用の道具で取るものだが、近くにナイフがあったため、誤って使用した。	73	364	8	100 ~ 299
2017	12	14~15	当社作業所で、自動餅つき機で餅つき作業をしていたとき、機械に手水を注入する際、手水計量カップを自動餅つき機の臼の中に落とし、拾おうとして誤って右手を入れたために負傷した。	17	165	7	50~ 99
2017	12	17~18	工場1階仕分け場で、商品の小仕分け作業中、各店舗のパン箱にパンを配り終えた際、空になった箱3箱を押していたとき、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を骨折した。	66	417	2	300 ~ 499
2017	12	11~12	本社工場内で、菓子の製造中、機械に生地を補充する際に誤って手を挟んでしまい、右手を負傷した。	20	165	7	50~ 99
2017	12	19~20	本社工場内にて、生産が終わった製造ライン等の清掃のため計量機を移動していた際、計量機のキャスターで右足の小指を踏んでしまい負傷した。	50	391	7	100 ~ 299
2017	12	13~14	製造したパンをカットする作業場で、機械でパンをカット中に、本人の不注意により、誤って機械で指を挟み、右手人差し指上部に裂傷を負った。	22	165	7	10~ 29

2017	12	13~14	お客様から、しとぎ餅の注文が入っていて、お客様が受け取りにきたので、4箱ある注文のうち2箱を駐車場に置いてある車に運び、残りの2箱を店の中に取りに帰るとき、誤って店の入口の段差の所で足を捻って転倒してしまい、足首を負傷した。	56	419	2	50~ 99
2017	12	7~8	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打し負傷した。	48	417	2	500 ~ 999
2017	12	13~14	高速道路にて、中央分離帯に接触し、頸椎捻挫した。	32	231	17	50~ 99
2017	12	15~16	派遣先の工場内でパック詰のお餅を冷凍庫へ移動するため、トレーに並び入れて台車に積み上げる作業を連日していたところ、腕が痛くなり、病院で右上腕二頭筋断裂と診断された。	49	921	19	30~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)